

LGBT（SOGI）をめぐる課題に関する各党の政策と考え方に関する調査への回答

日本共産党 参議院議員 武田良介

問1、 党の選挙マニフェスト・公約に性的指向・性自認に関する人権を保障する施策について記載はありますか。

1、 記載がある

問2、 性的指向及び性自認に関する困難を解消するための以下の施策の中から貴党の中で優先度の高いものを2つ以内で選択

4、 性的指向及び性自認に関するハラスメントや差別を禁止することが重要

5、 同性カップルに関する法整備や、相続など同性パートナーが配偶者として扱われないことで生じる困難を解消することが重要だ

問3、 超党派の「LGBTの課題を考える議員連盟」で2021年5月に与野党合意に至った法案について意見を

1、 賛成

問4、 性的指向及び性自認に関する法整備について、いつまでに成立させるべきと考える

1、 早急に成立させるべき

問5、 以下の各分野の課題についてのスタンス

A「教育」分野

(1) 学習指導要領に盛り込み義務教育の中で性的指向・性自認の多様性について子どもたちに教育すべきだ

1、 賛成

(2) 大学生間の性的指向や性自認に関するいじめを法律で禁止すべき

1、 賛成

(3) 学校現場において性自認に沿った制服、部活動への参加やトイレの利用などについて対応すべき

1、賛成

B「就労」分野

- (1) 採用時及び雇用期間中の性的指向・性自認に基づく不利益・不均等な取り扱いについて法律で防止・禁止すべき

1、賛成

- (2) 企業は性自認に基づいて働くことができるように対応を進めるべき

1、賛成

- (3) 性的指向・性自認に関する職場の取り組みについて、国が広くガイドラインを策定するなど、企業等の取り組みを積極的に支援すべき

1、賛成

C「福祉・医療」分野

- (1) 自治体の福祉窓口等において、窓口担当者による性的指向・性自認に関する差別や偏見に基づく対応によって、利用忌避や相談したことによる二次被害が起きることのないよう、国が実態を調査し、窓口対応等の指針を示すべき

1、賛成

- (2) 新型コロナウイルス感染症に関連して自治体が事務を行う際に、個人の性的指向・性自認が機微な個人情報であるという適切な認識や、性自認を尊重した対応がなされるよう、国が指導すべき

1、賛成

- (3) 新型コロナウイルス感染症の拡大下にあっても、HIV 抗体検査の積極的な実施など健康維持に必要な検査へのアクセスを保障すべき

1、賛成

D「その他」分野

- (1) 相続や各種の保障などについて民法上、同性パートナーが配偶者として扱われないことで生じる不利益を、同性パートナーも配偶者として同等に扱うことで、解消すべき

1、賛成

- (2) 合理的な必要性のない性別欄は各種の書類や申請書、証明書から削除すべき

1、賛成

- (3) 性的指向・性自認に関わらずスポーツに参加できるよう、日本スポーツ協会のガイドラインなどを踏まえて環境を整えるべき

1、賛成

問6. 性同一性障害特例法の見直しについて

- (1) 子なし要件を削除し、家庭裁判所による個々の事情を踏まえた判断にゆだねる

1、積極的に見直して改正すべき

- (2) 手術要件を削除する

1、積極的に見直して改正すべき

- (3) 必要な関連法改正を行ったうえで、非婚要件を削除する

1、積極的に見直して改正すべき

問7. 感想・メッセージ

日本国憲法は第13条で個人の尊重をうたっています。日本共産党は、性的指向・性自認による差別をなくし、誰もが個人として尊重される社会の実現をめざし、党の綱領にも明記しています。LGBT平等法の制定、同性婚を認める法改正をはじめ、性の多様性を認め合える社会の実現と、性的マイノリティーの人たちの人権、生活向上のために、みなさんと力を合わせます。